



ランドセル(学童保育)の  
子どもたち

 むらやま

# 議会だより

NO.69  
平成23年4月15日

◎ 3月定例会

22年度豪雪対策・東日本大震災関係補正予算……………p2～p4

23年度当初予算・条例改正・請願審査等

◎ 一般質問……………p5～p10

◎ 議会活動・一部事務組合議会報告……………p11

◎ 市民の声・議会ウォッチング……………p12

**がんばろう日本！      がんばろう東北！**

このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

# 平成23年第2回定例会

# 新年度予算総額 184億6千310万円

## 全国初「子ども救命士」育成プロジェクト2年目に

平成23年第2回定例会は、3月3日から22日までの20日間の会期で開かれました。

本会議初日に佐藤市長は、今冬の豪雪被害が甚大であり、支援に力を入れると述べ、また村山市が地域活力にあふれる年にしたいと市政方針を説明しました。その後一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算など9件、条例の一部改正など8件、平成22年度補正予算12件など29件を提案、それを受け23年度予算については特別委員会に付託しました。

慎重な審議の結果、上程された議案は原案のとおり可決しました。また追加議案4件が提出され、議員発議6件を可決しました。

### 条例関係

■村山市市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について  
(市長、副市長、教育長の給与を引き続き減額するため)  
■村山市特別会計条例の一部を改正する条例について

(老人保健医療事業に係る会計業務が終了するため)

■村山市市税条例の一部を改正する条例について  
(都市計画税の課税区域の見直しをするため)

■村山市国民健康保険条例の一部を改正する条例について  
(健康保険法施行令の一

部改正に合せ出産育児一時金35万円を39万円に改めるため)

■村山市まちづくり交付金事業基金条例を廃止する条例について  
(まちづくり交付金事業の終了に伴い基金を廃止するため)

## 22年度一般会計補正予算 2億6千300万円追加 豪雪対策に3千450万円 追加補正3千583万1千円は東日本大震災関係

### 補正予算関係

平成22年度補正予算関係では、一般会計に歳入歳出それぞれ2億6千355万7千を追加し、総額を11億6千671万6千円としました。

また議会最終日に東日本大震災関係の補正予算

が追加提案され、3千583万1千円が可決されました。友好都市塩竈市への支援費等1千485万3千円、避難者受入対応費に155万円、緊急援助隊派遣費43万円、市内公共施設災害復旧費1千241万1千円となりました。



子ども救命士育成講習会



**請 願**

■豪雪被害対策にかかる  
請願

みちのく村山農業協同  
組合 全会一致で可決

■脳脊髄液減少症（低髄  
液圧症候群・低脊髄圧症  
候群・外傷性頸部症候群・  
外傷性髄液漏れ等）の医  
療に関する請願書

■脳脊髄液減少症友の会  
全会一致で可決

■2011年度山形県  
「住宅リフォーム助成制  
度」に関し、使い勝手の  
良い制度を求める意見書  
の提出を求める請願

■県の住宅リフォーム助  
成制度を良くする連絡会  
賛成少数で不採択

■後期高齢者医療制度の  
廃止に関する意見書の提  
出を求める請願

■全国年金者組合北村山  
支部  
賛成少数で不採択

■固定資産評価審査委員  
会の選任について

■菊地多見弥委員の任期  
満了に伴い、新たに太田  
健一氏（楯岡）の選任に

**議 員 発 議**

同意しました。

■豪雪被害対策にかかる  
意見書

（豪雪被害農家の再生産  
に向けた万全な支援対策  
を）

■脳脊髄液減少症の医療  
に関する意見書  
（治療費の保険適用を）

■脳脊髄液減少症の診断  
及び治療が可能な医療機  
関の公開に関する意見書  
（県内で診断や治療がで  
きる医療機関の再調査と  
最新情報をHPで公開す  
ること）

■森林・林業活性化施策  
を求める意見書

（「森林・林業再生プラ  
ン」に基づき、林業・中  
山間地域経済活性化と公  
的森林整備体制の確立を  
求めるもの）

■東日本大震災における  
災害対策の特別措置を求  
める意見書

（立ち上がろう「東北」  
がんばろう「東北」被災  
地復興に向け最善の策  
を）

■村山市議会議規則の  
一部を改正する規則につ

いて  
（議案の審査・議会の運  
営に関し協議調整行っ  
た  
めの場合を設けるもの）

**一般会計予算 111億7千万円**

**平成23年度予算総括表**

（単位：万円）

区 分	予算額	前年度(当初)	増減額	増減率	備 考
一 般 会 計	1,117,000	1,037,000	80,000	7.7	
国民健康保険事業特別会計	276,809	268,660	8,149	3.0	
公共下水道事業特別会計	120,344	117,616	2,728	2.3	
財産区特別会計	93	118	△25	△20.8	
農業集落排水事業特別会計	6,587	7,109	△522	△7.3	
土地区画整備事業特別会計	2,109	2,131	△22	△1.1	
介護保険事業特別会計	210,337	200,238	10,099	5.0	
後期高齢者医療事業特別会計	28,024	27,259	765	2.8	
水道事業会計	85,007	86,346	△1,339	△1.6	資本的収支 予算を含む
合 計	1,846,310	1,746,477	99,833	5.7	

# 予算特別委員会

予算特別委員会を開催し、本会議で付託された平成23年度一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算など8件の当初予算に対する総括質議を行いました。

詳細については各分科会に付託し審査しました。審査の結果概要は委員長報告のとおりです。

予算特別委員長 長 南 誠



本委員会は平成23年度本市の一般会計予算及び特別会計予算の審査にあたり、予算編成においての基本姿勢等について慎重に審査を行ったところであります。

日本経済は政府の景気刺激策により緩やかな持ち直しを見せたものの、依然として雇用の悪化など厳しい状況下にあります。本市においても厳しい

状況が続いており、雇用情勢など早急な回復は難しく、全体としてしばらくは低調な動きが続くと懸念されます。

このような状況下で平成23年度予算は「安全で住みよく暮らしやすいまち」をめざし、財源の最適配分に意を払いながら、居住環境の整備充実、子育て支援、地域計画実現への支援、にぎわい創造事業などに対応した幅広い予算編成と評価をするものであります。

また審査の過程で各分科会で述べられた意見要望については、予算の執行にあたり十分尊重されるよう望むものであります。

審査の結果、付託されました予算案9件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

結びに、今後も減少する歳入と増加する歳出収支均衡の図れない財政状況が予想され、更に一般の大地震による社会経済活動に不透明感が増すと思われることから、市民への安全・安心の確保を最優先として、今後進められるであろう地方財政に関係する制度の見直しについては、動向を注視し、優先順位を検討しながら、補正予算措置も含め予算の執行を進めるよう要望し、審査の報告といたします。

## 新年度の主な事業

(単位：万円)

●新戸沢小学校プール整備事業	3,478	●新地域総合整備資金貸付事業 (市内企業への増築費用貸付)	27,400
●新楯岡中南側屋外環境整備事業	2,710	●消防・救急施設整備事業 (消防ポンプ車、防火水槽整備ほか)	7,135
●「図書館からの贈りもの」事業 (H23年から中学生も贈呈対象に)	110	●子育て支援医療給付事業 (小学校3年生まで外来医療費無料、中学生まで入院費無料)	5,953
●市道特殊改良・新設改良事業 (市道徳内・シーボルトライン等)	30,067	●各種ワクチンへの接種事業 (子宮頸がんワクチン等接種)	5,162
●県営道路事業負担金 (東北中央自動車道追加IC設置など)	2,000	●子ども手当支給事業	46,222
●新大旦川内水対策事業 (大旦川内水対策測量・設計委託)	3,000	●新住宅団地整備事業 (楯岡中学校跡地開発)	3,830
●新村山駅東口広場整備事業 (整備に係る設計・用地購入)	4,450	●地域おこし協力隊受入事業 (都市圏からのUJIターン者受け入れへの助成)	720
●新住宅リフォーム支援事業 (増改築・修繕等に補助)	3,028	●「子ども救命士」育成プロジェクト (2年目全小学校へ普及)	
●新定住促進住宅整備事業 (雇用促進住宅2棟の購入ほか)	17,243		

●新は新規事業

# ここが聞きたい！ 一般質問

## Q&A

本定例会の一般質問は  
3月7日・8日に11人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿を  
そのまま掲載しています。



### 市政方針について

須藤和幸議員

**Q** 新年度予算編成に  
当たっての基本視点は、  
市税収入が厳しい中  
で、平成20年のリー  
マンショックまでは順調  
で、27億円あったが、平  
成21年、22年の2年間で  
3億3千800万円の市税収  
入の減となった。その中  
で市民の期待に答えられ  
る予算編成をどうするの  
かが基本だった。もちろ  
ん過疎地域指定もあり、  
過疎地域自立促進計画な  
ども議会から承認をいた  
だき、それに沿いながら  
進めている。それが基本  
的な状況だ。

**Q** 村山インターを含め  
たインターチェンジ  
周辺の整備をどのように  
考えているか。

**A** 3ヶ所のインター周  
辺の土地について、  
10ヶ所程度を県で調査し、  
地形、自然環境の保全、  
道路、上下水道、開発コ  
ストなどを整理し、調査

結果をもとに物流基地を  
含めた産業全般の開発可  
能性を探っていきたいと  
考えている。

**Q** 今年、カンボジアか  
ら村山市へ訪問意向  
の団体があるが、受け入  
れは。

**A** 農・食というものが  
きっかけで交流され

ていること。特に田字草  
がたくさんあるという事  
ですから、村山市に来る  
機会があれば、議会の皆  
さんとも相談して支援し  
ていきたい。民間主導の  
交流を大歓迎してまいり  
たいと思う。



カンボジアの農村風景





## 豪雪被害と対策について

長南 誠議員



パイプハウスの損害と枝折れ

**Q** 豪雪に対する思いと被害状況、被害金額は。また今後の対応は。

**A** 1月17日に豪雪対策本部を設置し、市民が安心安全な日常生活が出来るようにとの思いで取り組んでいる。農業施設、特にさくらんぼ雨よ

けハウスの被害が大きい。農家が意欲を持ち携わるよう、市単独の支援制度を作った。事業費3千500万円。現時点での被害額は農業用ハウス120棟6千800万円、枝折れ1千200万円、今後の園地の融雪剤1万袋農道除雪は2月中

旬から行っている。

**Q** 日常生活に関係する部署は、有事を想定し連絡網を徹底し、危機管理体制を確立すべきではないか。

**A** 災害対策基本法に基づき、各種災害に対処するために必要な事項を定めた地域防災計画があり、それを円滑に行うため村山市危機管理マニュアル、業務ごと必要に応じた対応する危機管理マニュアル、各課で整備緊急連絡体制等定めている。平常時は各課で責任を持って行い、複数課にまたがる時は、総務課が窓口になる。

災害時の応援協定は21団体と結び、特に市民に直結する水道については、市管工事組合、道路は市建設業協会、電気は東北電力(株)営業所と応援協定を結んでいる。



## 村山市の観光の未来

布川 淳一議員

**Q** 東沢公園を通年型の公園にし、誘客を企むべきだ。たとえば日本一のバラのトンネルや下の沼でのボート遊び、案内看板の増設などが考えられる。また徳内シーボルト道路の沿道に桜回廊を作ってはどうか。

**A** 通年型の観光は大切だ。東沢公園の改修については、来年度はバリアフリー化を進めて行く。徳内シーボルト道路への提言は大いに参考にさせていただく。また、公園の入り口付近にこども遊園地などを整備し通年観光を意識した計画を進める。上の沼周辺の景観整備にも努めたい。

**Q** 70%を国が交付税で補填する有利な過疎債を利用した、クアハウス基点の大規模改修の内容は。

**A** クアハウスは、24年度に改修工事に着手



道の駅の産直

したい。具体的には全館バリアフリーにし、大浴場の改修や、一部の客室を和洋室に改修する。

**Q** 道の駅の改修について今後は産直関係の新たな施設がメインと聞く。そのためには生産者の育成が急務である。ま

た商品管理が重要であるし、村山市の六次産業を育てる意味で中途半端な施設にならないように要望する。

**A** 23年度は市内を網羅した産直の組織づくりをし六次産業化に向けてトレーニングしていく。



## 活断層直近の公共住宅取得に 反対する

長谷川 元 議員



## 市民センター、地区公民館の 今後の運営について

佐藤敏彦 議員



避難所として緊急活用が要望された雇用促進住宅

**Q** 当市における少子化対策の充実を前々から申し上げているが、現状はどうなっているのか。

**A** 今後福祉事務所内の子育て推進係を設けて今後事業を進めていく。先日、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチン接種による死亡事例の報告があったが、現在の乳幼児ワクチンの接種及び助成について説明を。厚生労働者よりワクチン一時停止の通達が来ている。市としても適切に対応する。定期接種ワクチンは全て公費助

成を行っている。任意接種はおたふく・水ぼうそう・B型肝炎・A型肝炎だが6千円〜8千円の費用がかかる。助成はない。楯岡中学校跡地利用に際して、駐車スペースや雪捨て場の代替地の用意は。

**Q** 現在357台分のスペースを広場内に107台楯中南側に157台と101台で365台分確保する。雪捨て場は笛田県有地に充分な空き場所がある。

**Q** 雇用促進住宅取得による民間不動産への影響は。民間への利用促進のため住宅助成制度の創設は。楯岡尾花沢断層という活断層が直近にある。危険性のある場所への公共物取得が市民の安全を守る市長の考えか。

**A** 既存住宅の取得であり利用層が異なる事で影響は少ないと考える。危険であると認識しない。

**Q** 現在の事業運営状況は、②今後、組織のあり方、運営方法、職員配置等についてどのように考えているのか。

**A** ①市民センターは、まちづくり協議会を中心に、環境、福祉、防災、交通安全関係などを地区毎に活発に推進している。市では、推進交付金2千万円、特別交付金3百万円（23年度からは2百万増額）予算措置し

て特色ある事業を展開している。公民館は、施設の維持管理費1千6百万円を教育委員会予算として支出している。両事業については、混在している地区が見られる。

**Q** 幼稚園と保育園を一体化させて、「こども園」設ける構想について①構想の内容について、②目的、課題は。

**A** 国の要綱案は昨年6月に示され、具体的に議論中だ。新制度の目的は、幼稚園、保育園の垣根をなくして、新たに良質な保育サービス構築するものだ。②財政的な負担等が心配される。



大高根市民センター





## 安心出来る国保行政を 川田 律子 議員



北村山公立病院の窓口

**Q** 「国保税が高くて払えない」小泉構造改革が広げた貧困と格差の矛盾が国保制度に現われている。次の点について市長に問う。①国保の広域化についての市長の見解を。②国保の一部負担金の窓口減免をいつから

やるのか。③市民の負担の限界を超えている国保税の引き下げを。④北村山公立病院の無料、定額診療を。

**A** 市長会と県の考え方にずれがある。23年の9月まで策定計画を出すべきと申し入れている。

国保会計の厳しい現状の中で広域化の方向で進まざるを得ないと思いがながらメリット、デメリットを考えて判断していく。②国の基準をもとに検討している。医療費の未収金と一体化のため出来れば3市1町と連携を取りながら実施する方向で進めたい。③22年度は2億3千万円の赤字の見込み。23年度は現在2億2千万円の基金残高はゼロになると思う。上げないで軽減を思いながらやっている。理解してもらいたい。④北村山公立病院の幹事会で協議したが、①経営が厳しい中減収になる。②公立病院には優遇税制などのメリットがない。③自治体病院では実施している病院は1ヶ所もなく導入はむずかしい。今後耐震化に向けた改修もあり理解してもらいたい。



## TPP反対の 具体的取り組みを 中里 芳之 議員

**Q** 中小建設業者の仕事確保が目的の小規模工事希望者登録制度があるが、あまり活用されていない。50万円以下の工事が市全体でどれだけあるか把握し、その半分は登録業者に発注するという目標をもって取り組む必要があるのではないか。

**A** 制度についてさらに宣伝していく。各課を通じて調査し、受注の機会を設けていく。

**Q** 暮らしの高齢者宅前に雪を置かないようにする配慮が試行的に実施されたが、たいへん喜ばれている。全市に拡大を。②春先の農道除雪だけでなく、雪が盛りの時の農道除雪も必要だ。せめて油代の補助を。

**A** ①課題があり、さらなる考察・検討が必要だ。②市道除雪が優先だが、意見は参考にする。

**Q** マスコミは、TPPが国民生活に何をもたらすか報道せず、TPP参加を煽っている。世論調査では、国民の6割がTPP賛成に誘導されている。市がシンポジウムを主催するなど、あらゆる機会を捉えて、TPP反対の具体的行動が必要だ。①東京村山会などの挨拶でTPPに言及したことはあるか。②市の元気塾でTPPについて認識を深める講演を行ったことがあるか。



TPP反対のデモ行進





## 逆境に立ち向う農業

大山正弘 議員

**Q** 今冬の豪雪に対する農業施設被害とTPPの考え方について。

**A** 被害を受けた施設の資材購入費助成に限らず解体撤去費を支援し、被害を受けた農家の経営の継続と向上、負担軽減を図りたい。

TPPへの参加は、村山市においても、農業や市民生活に多大な影響を及ぼすことから、市独自でもTPP参加への慎重な対応を求める要請書を国、関係機関あてに提出している。

更に農業者の高齢化や



整備計画が待たれる中島新田楯岡線

担い手不足に伴い農地集積事業は、借手の認定農業者数も16人と伸び悩み集積も限界に近い状況にあり、新たな農地の受け手開拓が必要だ。

**Q** 中島新田楯岡線の整備と安心安全な通学路、都市計道路は。

**A** 県営アパートから父母報恩寺までの470m区画歩道がなく通学路としては危険と判断している。市として早急に安心安全な通学路を要望し、今年度から幅広路肩整備工事をしていただいている。また中島新田楯岡線も大変交通量が増加し、楯高の東側温泉線が接続のため、駅前十字路が交通混雑するようになった。駅前交差点から東根温泉まで450mの区間を要整備路線として、楯高跡地のまちづくりと併せて、県に中島新田楯岡線整備を要望していく。



## 市政運営の手法について

能登淳一 議員

**Q** 協働の街づくりは市民及び議会との信頼関係をどう構築していくかだと思ふ。私は「仕事は自ら手柄は他人」という竹下元総理の言葉を大切にしているが、市長の所見を問う。

**A** 二元代表制の中で議員、市長がそれぞれ街づくりに思いを持ちつつ役割を考えながら選挙を経てきた。その意味において野党、与党は無いとの考えである。誤解もあると思うが、村山市を発信していく事を使命としている。

**Q** 雪害対策等災害時には職員も議員と同行して要望活動すべきではないか。

**A** 議員の提言は市政運営に取り入れている。政策提言については、言うべき事は言う。議長と同行すべきはする。

**Q** 雇用促進住宅の取得は、若者が定住する政策とは乖離するのではないか。

**A** 二年前から議会には考え方、スケジュール示してきた。必須要件としてエレベーターを設置する。

**Q** 産業振興策として、村山市により確実に立地してもらう為、専門部署を置くべきと考えるが、どうか。

**A** 新年度企業対策室を商工文化観光課内に設置する。



豪雪 3月の村山市



## 過疎地域自立促進計画を問う

鈴木健治 議員



雇用促進住宅2棟の取得

伺いたい。

**A** 農工商連携6次産業就食活動創出では、大豆、カシスなどを検討。またそばを活用した商品開発に向け観光物産協会を中心に事業を計画している。

**Q** 村山市内企業の現状と雇用創出の取り組みについて伺いたい。

**A** 新規高卒者の就職内定率は昨年同様の内定が予定されている。

また今回初めて開催した村山市独自の就職相談会では、参加企業20社100名の求人相談会を行った。今後の雇用創出に期待をしている。

過疎対策実業債を活用して、本年度は定住促進住宅整備や雇用創造推進事業等の投資的事業に過疎債を活用して取り組む。

**Q** 地域活性化再生計画による農工商連携の6次産業と村山ブランド開発の進捗状況について

更には、市内企業の支援体制については年度末を控え万全の体制で臨みたい。



## 時代に合った都市計画を

森一弘 議員

**Q** 農地法の改正。駐在所の統廃合。農協支店廃止。企業の撤退等国・県・企業の動き。若人の意識の変化。村山市の状況が変ってきた。新しい時代に対応した都市計画をすべきだ。

**A** 見直した。不十分な点があれば検討し今後の計画に生かして行く。

**Q** ホームページは市の顔であり企画を発信する大切な手段だ。数年前の古情報掲載。更新していないなど根本的な問題が見られる。インターネットにHPを乗せる事は記事に責任を持つことであり、チェックは不可欠。誤解を招くHPなら即閉じるべきだ。

**A** 確認不十分だったと反省している。情報提供の機会の拡充手段と認識し見易く分り易いHP作りをしていく。

高速インターネット通信の実現

### 厚岸町情報通信基盤整備事業

新たな行政情報等伝達機器の整備

地上デジタルテレビ放送の難視聴解消

**Q** 12月議会で、情報インフラ整備は早くやると答弁。三ヶ年実施計画では、工事の開始が一年早まるだけで完了は相変わらずH27年度と最後、市民・若人の声を聞いていない。他市町村では情報インフラを駆使し種々

**A** 今後の財政計画運営にかかわる問題だ。一年も早める検討をした。ソフト面の計画もしていく。



# 主な議会活動



産業建設常任委員会管内視察  
〈2月8日〉  
市内の除雪状況及び豪雪による農業施設の被害状況



会派市政クラブ行政視察  
〈1月22～23日〉  
視察地 東京都台東区  
台東区立図書館の運営について



議会基本条例についての研修会  
本議会は市民の負託にこたえ開かれた議会を旨とし、市民の福祉の向上及び公正で民主的な市政の発展を目的として「村山市議会基本条例制定」特別委員会を設置し、2月23日全議員による研修会を開催した。



議会運営委員会行政視察  
〈2月17～19日〉  
東京都羽村市、瑞穂町  
議会改革の取り組みについて  
議会報告会について

## 一部事務組合議会報告

### 共立衛生処理組合

2月22日東根市議場で定例会が開かれた。23年度予算が前年度当初予算比較で、20%増の23億5千700万円で、主な事業は、ごみ焼却処理施設基幹改良整備工事、し尿処理施設改造工事により、新たに脱水機を導入し処理工程を短縮する。構成市町の負担金は人口減少などを考慮し、37%減の7億9千493万円となり、村山市負担金は1億2千854万円とした。

### 北村山広域行政事務組合

3月24日当市本会議場で第1回定例会が開催。平成23年度一般会計予算案、各市町負担金、北村山教育基金条例案、教育委員会委員の任命の4件。

財団法人北村山教育会からの基本財産の寄附により、一般会計は前年度比22・6%増の約1億4千633万円。当市負担金は約3千382万円(△2.7%)。予算案は賛成多数、その外は全会一致で可決。

### 広域斎場事務組合

2月23日河北町議場で定例会が開催された。平成22年度補正予算は、施設管理費の修繕料等の減で63万3千円となる。平成23年度当初予算歳入歳出9千184万9千円を全会一致で可決した。燃料費の増、火葬炉の一部を取替え修繕するもの。当市の負担金は前年対比84万7千円の増、2千756万7千円とした。

### 公立病院組合

3月25日、東根市議場で定例会を開催。23年度事業会計予算、3市1町の負担金を原案の通り可決した。23年度の予算は、年間入院患者数を、11万4千950人、外来患者12万4千950人を見込み55億4千851万円の収支均衡予算とした。村山市の負担金は、1億7千973万円(実質負担額は、3千586万円)とした。

# 市民の声



まごころ広場代表  
高橋利男さん(富並)

**わ**んぱく道場の目的。地域の特性を活かした農作業等の体験を通し、自然と親しみ自然を大切にすることを培ってもらい、地域住民の連携した活動により、活力ある地域づくりを目指すことを目的として始める。

組織としては、地域資源を活かした子供達と自然景観環境の保全とをふまえ、食農教育を熱く語り農家を中心に農にたずさわる団体、小学校の先生と連携し各指導者を配置して地域のスタッフが手伝い事業をおこなう。

- 5月 田植え、餅つき
- 7月 じゅん菜沿の水辺の生き物調査
- 9月 稲刈、里芋掘り、芋煮会
- 12月 ケーキ作り
- 2月 そば打ち

**も**う一つ食農と言えば道の駅産地直売所「まごころ広場」である。市内農家が丹精こめて作った農産物の直売を通して、村山産をアピールしながらお客様と対話し地産地消を願い、農業にも耳を傾けてもらい理解していただければと思っている。また会員の募集もしている。



まごころ広場(道の駅)



田植の準備をする子どもたち

## ぎ かいウオツチング

### 問 常任委員会とは?

こたえ：予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ、効率的に審査するために置かれている常設の委員会です。

村山には次の3つの常任委員会があり、市議会議員は必ずいずれかの委員会に所属することになっています。委員の任期は2年です。



お見舞のため塩竈市へかけた柴田議長

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞申し上げます。一日も早い復興を村山市民と共に祈り申し上げます。村山市議会

#### 総務常任委員会 (6名)

市政の企画・財政・  
税務・会計・選挙  
管理・市民課を審査します。



#### 文教厚生常任委員会 (5名)

学校教育・生涯学習・福祉・保健介護・消防などを審査します。



#### 産業建設常任委員会 (6名)

環境・農林業・商工業・道路・上下水道などを審査します。



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
佐藤敏彦	川田律子	鈴木健治	茨木久彌	長南誠	秋葉新一

### 議会広報特別委員会

(川田律子)

義援金、ボランティアに。  
がんばろう「東北」。

**あてがき**  
千年に一度と言われる災害が東日本に大きな被害をもたらしている。幸いなことに村山市は、大きな被害は免れたが、これから豪雪と震災の二重の影響が懸念される。それでも壊滅状態の隣の状況を見れば、動き出す村山市民の物資援助

### 豆ちしき

#### 議会基本条例とは

議会では、市民の福祉向上と公正で民主的な市政を目指し、そして、市民の負託に的確に応えるため、議会の基本的な事項を定めるものです。